

平成13年度
進路講演会

■ 2年進路講演会「私が歩んできた感染症の研究」

熊本大学医学部教授原田信志先生

平成13年10月25日実施

1981年にエイズが最初に報告されたときから研究に携わっておられる先生の体験を生かした話や、エイズについての基礎的な知識についていろいろな話をさせていただきました。また、最後には「知性とは何か」という問題提起をしていただきました。生徒からの質問に対して、「生まれ変わったら、たくさんの人に影響を与えることができる教師になっているだろう」という話も印象的でした。



■ 1年進路講演会 「自己の適性をみつめて」

(株)ベネッセコーポレーション 原野忠久氏

平成13年9月6日実施



◎講演のレジュメから

◆進路・進学を考えると？

○進路を考えることは、10年先の職業、居住地を考えることにつながる。

○進路を考えることは、『自分を認め、選択し、決断すること』

○『まあ今は考えなくても、先はある…』

15の春は笑ったが、18の春の保証は？

◆最も大切なこと

社会に出て必要となる力、今、本当につけなければならない力とは何か？

やる気のある人には必ず動機がある。動機は「人に行動を起こさせるもの(要求、欲求)」である。だから行動を起こすためには動機付けをしなければならない。だが、動機付けをされていない人は多い。自分の人生を生きようとしていないのだ。動機付け

をされている人は行動し、物事を成し遂げ、人生の日々を大事なものとして生きている。あなたを動機付けるのはあなた自身なのだ。

◆文理選択のポイント

- ①好きな科目から考える。
- ②興味・関心から考える。
- ③適性から考える。
- ④職業から考える。
- ⑤学びたい学問から考える。